



内閣官房内閣情報調査室

内閣衛星情報センター

Cabinet Satellite Intelligence Center

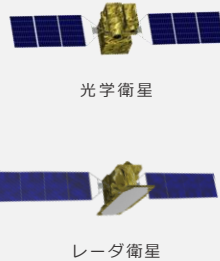
内閣衛星情報センターとは

内閣衛星情報センターは、我が国の安全の確保、大規模災害への対応に関する画像情報の収集・分析・情報収集衛星システムの開発・運用に関することを任務としています。2001年に設立されて以降は、情報収集衛星開発から運用、画像情報分析まで行う国内唯一の政府機関として、国民の安全・安心に貢献しています。



情報収集衛星とは

情報収集衛星は、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、導入されました。情報収集衛星は、昼夜を問わず世界中のあらゆる場所を高い分解能で撮像できる能力を持っています。日中は光学衛星及びレーダ衛星が、夜間や天候が悪い場合はレーダ衛星が主に活躍しています。



情報収集衛星画像(加工処理画像)

林野火災による被害(令和7年)
(愛媛県今治市)



国内で大きな災害や事故が発生した際には、情報提供のため、情報収集衛星の画像を加工して公開しています。

職員からのメッセージ



令和3年採用
一般職(大卒程度)
【行政区分】

衛星センターは行政区分の試験で入庁した方でも、宇宙分野で働くことができる貴重な職場であると感じています。行政区分での入庁は技術的な知識に関して不安な点もあるかと思いますが、入庁してからの技術的な研修も充実しており、また、宇宙分野でのバックグラウンドを持つ出向者の方から、業務を通して知識を学ぶことができる機会も非常に多いです。宇宙分野に興味がある方はぜひチャレンジしていただければと思います。



令和6年採用
一般職(大卒程度)
【デジタル・電気・電子区分】

衛星の開発から運用、判読・分析まで行っている唯一無二の機関であり、「政府の重要施策の決定に貢献する」という任務に直接貢献できる分析業務とそれを技術的・事務的な面から支える業務の両方を経験することができます。業務の特性上、センター以外の人に自分の仕事の話をすることはできませんが、機微な情報に接する機会があることは魅力だと思います。

業務内容

管理部	総務・会計・予算・国会対応のほか、撮像計画作成までを行う。
技術部	開発・打上げ・管制・管理のほか、最新の技術動向を調査する。
分析部	衛星画像を判読・分析し、報告書を作成する。

キャリアパス・イメージ

採用実績

採用年度	採用区分		
	行政	技術(全区分)	教養
令和5年度	—	6名 (男性4, 女性2)	—
令和6年度	—	7名 (男性4, 女性3)	—
令和7年度	—	3名 (男性1, 女性2)	—
令和8年度	2名 (女性2)	5名 (男性3, 女性2)	0名
令和9年度	全区分から10名程度(予定)		



管理職へ 管理職として組織運営に貢献します
専門職へ 専門家としてセンターへ貢献します



本人の希望・適性に応じ、本格的に各種業務に従事(概ね7年目～)

・専門性を身につけ、中堅として経験・知識を磨きます
・専門的能力を向上させ、センターの最前線で活躍していきます

入庁後、全ての部を経験(1～概ね6年)

・行政官としての基礎を習得し、センター職員としての基本的能力を身につけます
・本人の希望に応じ、他省庁、他機関への出向、在外研修等を経験することも可能です

